令和5年(2023年)9月　青果部　主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2023年9月 数　量 (トン)	2023年9月 平均単価 (円)	前年同月比 数　量	前年同月比 平均単価
1	野　菜	人　参	北海道産中心の入荷でした。天候の影響により生育不良となったため数量は減少しました。平均単価は高く推移しました。	560	261	85%	120%
2		キャベツ	群馬(嬬恋)県産を中心に、岩手県産、長野県産の入荷でした。数量はやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	799	92	95%	114%
3		トマト	高温化で花落ちが多く、数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	410	549	70%	121%
4		なす	群馬県産、栃木県産を中心の出荷でした。数量はかなり増加し、単価は高く推移しました。	122	383	131%	119%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。数量は平年並み、平均単価は低く推移しました。	587	107	102%	89%
6	果　実	ぶどう	着果が良く、房数として伸び数量はやや増加しました。平均単価は平年並みに推移しました。	158	1,388	107%	102%
7		りんご	猛暑の影響を受け、数量は減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	164	354	81%	124%
8		なし	前進出荷の影響で、数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	353	398	71%	129%

【増減基準】
①並み、横ばい:(＋－)0～2%
②やや増加(減少):(＋－) 3～10%
③増加(減少):(＋－)11～20%
④かなり増加(減少):(＋－)21～50%
⑤大幅に増加(減少):(＋－)51%以上